

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
音楽セラピー I Music therapy I		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(音楽表現で感性を高める)	メディカルクラークユニット履修者
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
アロマセラピー アートセラピー I				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
岡泉志のぶ	講義棟3階	月、水、木、金		授業中に指示します
授業の概要				
ミュージックセラピー（音楽療法）は、ストレスなどで病んだ心や体の症状を改善したり、痛みを緩和し生活の質の向上を図る目的で音楽を用いる療法である。近年、音楽はストレスを解消し、免疫力を高めると音楽の幅広い効能が心と体のセラピーとして注目を集めている。この授業は、受講者自身が医療現場などで求められている音楽の効能に関心を持ち、音楽的な教養と豊かな感性を身につけ、リラクゼーションの手段として音楽を活用できることを目的とする。				
授業の目標				
① 普段の生活の中で、自然と体験している音楽の力の基礎知識を習得できるようにする。 ② リラックスできる音楽を鑑賞し、音楽の力と脳に与える影響力との関連性を例証することができるようにする。 ③ 音楽の構成する3つの要素（リズム、メロディ、ハーモニー）を認識することができるようにする。 ④ 豊かな感性を身につけるために、自ら鑑賞した音楽や作品を選んで活用することができるようにする。				
授業の方法				
演習科目として、音楽の演奏活動（ミュージックベル）を主とし、医療現場で活用できる音楽的技術の向上を図る。				
学習の成果（学習成果）				
① 音楽作品を鑑賞する楽しさや幅広い音楽への興味や関心が高まり、豊かな感性と音楽的な教養を身につけることができる。 ② 音楽を利用した心身のケアに興味や関心を持ち、リラクゼーションの手段として音楽の活用ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス シラバスを参考に授業の進め方や成績評価方法について説明する			
第2回目	音楽の力と生活			
第3回目	音楽の基礎知識と音楽の活用法① ー音符とメロディーー			
第4回目	音楽の基礎知識と音楽の活用法② ー和音とハーモニーー			
第5回目	リラクゼーションの手段① ー音楽療法と音楽ー			
第6回目	リラクゼーションの手段② ーα波と音楽の関連性ー			

第7回目	トーンチャイムとミュージックベル① ー実践ー
第8回目	トーンチャイムとミュージックベル② ー応用ー
第9回目	音楽の癒しと効果① (クラシック音楽とその効果)
第10回目	音楽の癒しと効果② (幅広い音楽とその効果)
第11回目	音楽活用法① (メロディライン)
第12回目	音楽活用法② (メロディとハーモニー)
第13回目	音楽活動の実践①
第14回目	音楽活動の実践②
第15回目	音楽活動の実践③

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	音楽に関心を持って積極的に授業に参加している。
レポート	30%	音楽の力とリラクゼーションについてレポート提出をする。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容 (態度含む)	50%	音楽活動の実践として、歌唱または演奏することができる。
その他		

教科書と参考図書

テキスト、参考書：適宜、プリント、資料、楽譜の配布をする。

履修上の留意点・ルール

授業中の居眠り、私語、携帯電話（使用可の場合は指示する）の使用と飲食は禁止とする。使用教室（MR I、MR II など）は土足禁止である。